

## 会 議 録

会議の名称	平成27年度第3回 藤岡地域会議
開催日時	平成27年7月14日午後6時35分開会・午後8時52分閉会
開催場所	藤岡総合支所旧議会棟 会議室
出席者氏名	別紙のとおり
欠席者氏名	別紙のとおり
事務局職員職氏名	別紙のとおり
その他出席者等	別紙のとおり
会議事項	・藤岡地域の課題の整理について（地域予算提案制度） ・その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	無し
その他必要事項	無し
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◎会 長 ○事務局	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 藤岡地域の課題の整理について（地域予算提案制度） <説明> 事務局に対し、協議事項の説明を求めた。 資料に基づいて説明した。
◎会 長 ◎A委員	<質疑・意見> 委員に対し、意見を求めた。 資料の実現可能性A、Bの判断根拠について説明願いたい。また、田中正造翁銅像周囲のスロープについては、数年前に修繕しているため、除外すべきと思う。
◎会長 ○事務局	実現可能性の判定については、事務局から説明願いたい。 実現可能性については、事務局として各課題の所管課にヒアリングした結果を入れたものであり、それが絶対では無いと考えているため、忌憚のない議論をしていただきたい。
◎B委員 ○事務局	伝統行事の復活やお祭り等の参加者が少ないなどの課題について、ボランティア団体が主体となる事業とされているが、ボランティアが実施すべきことか疑問である。 どんど焼や灯籠流しなどの行事や祭りは、元々自治会等の団体が担っていたため、実施主体は仮にボランティア団体とした。それを掘り下げていけば、実施主体は新たに立ち上がるであろう実働組織となるかもしれないし、行政の所管課に

	実施を委ねるとなれば、地域予算提案制度に該当していくかもしれない。いずれにせよ、現段階での実施は判断できないと事務局は考えたと理解いただきたい。
◎C委員	どんど焼の中止は、福島原発事故の放射能汚染によるどんど焼焼却灰処理の問題が原因であった。
◎A委員	灯籠流しについては、商工会が旧藤岡町からの補助金を受けて花火大会と同日に実施していたが、藤岡町主催で別のイベントを実施することになり町の予算が付かず結果的に行われなくなった。以前、地域協議会で渡良瀬遊水地の花火大会の復活という話題も出たが、それを含め皆さんで話し合えば予算化も可能ではないかと思う。
◎D委員	この議論は、予算をどう確保するかの話だと思うが、実現可能性でSの評価が付いているものについては、予算化は不要ということによろしいか。
◎E委員	前回の会議でも確認したとおり、委員から出された課題の中から地域予算提案制度に適合する事業を振り分けるために、事務局にAからSを付けてもらった。地域予算に適合しないものでも、我々は、各種ボランティア団体を含めた中で一緒にまちづくりをしていくための活動を検討していければと思う。ただ、今議論すべきことは、地域予算提案制度にどの事業が該当するかを検討し、予算の中でどんな事業にどう予算を振り分けるかを検討することだ。
◎会長	実働組織を立ち上げ、実働組織とともに藤岡地域に真に必要な物事に地域予算をどう充てるかを検討するのが本来の順序だ。しかし、今年度は時間が無く実働組織の立ち上げも間に合わないため、委員の出した課題の中から事業を選択するか、今日の会議の中で新たに何か事業を選択するかということになる。
◎F委員	私が提案した部屋小学校の配膳室整備については、実現可能性がEで順次対策を取っていくとのことだが、これは、地域予算の288万円の中で実施するのか、行政で実施してもらうのか。
○事務局	今の提案については、教育総務課と協議した結果、Eと記載したがSの部分もある。予算は、教育委員会教育総務課の予算であり、雨漏りと床の修繕を今年度実施し、根本的な修繕は大規模工事となるため順次対策を取っていくとのことだった。
◎A委員	資料13ページの観光案内看板整備についてだが、自分も遊水地に関わっているが場所を知らないのだから、他の委員も知らないと思うが。
○事務局	— 観光案内看板設置場所の説明 —
◎C委員	合併により看板の表記が、藤岡町から栃木市に変更されている。外から来た方が、藤岡に来たことがわからないので、栃木市藤岡町表示することはできないのか。
◎G委員	やはり、栃木市は栃木市であり、市に入ったということで栃木市と表記するのは致し方ないことだ。
◎E委員	地域予算で看板に取り組む場合、既存の看板の再利用や新規設置等色々な考えがある。例えば、岩船山のクリフステージの野外コンサートの際に、電柱にフラッグが連続して付いているように、看板単体ではなく、渡良瀬遊水地に向かって

	誘導するような設置など、行政側が決めるのではなく、委員で意見を出し合って決定するべきだ。
◎G委員	委員からは身近な課題ということで提案されているが、その中で制度に沿った事業を見つけるのは至難の業だ。何点か実現可能性のある課題は出されているので、今年度はそこから選択するのが現実的であり、今後の会議の進め方のポイントになる。
◎会長	他に意見が無ければ、いくつかの課題を選択して藤岡地域の事業提案の方向性を決定したいと思う。
◎C委員	それは実働組織の話か。
◎会長	実働組織については、今後取り組む。
◎E委員	混同しがちだが、まずは、地域予算制度の事業に絞って協議していただき、実働組織、地域ボランティア組織、団体などと一緒にどのようにまちづくりをしていくかは別に検討していくということだ。
◎H委員	資料20ページの地域発見事業だが、気球・カヌー・スカイダイビング等遊水地の十八番的なすばらしい独自事業だ。これが、市全体で対応する事業とされているが、なぜか。
○事務局	各地域にそれぞれ再発見するものがあるだろうということで仮に全市的としたが、貴重なヒント・素材が含まれている課題でもあるため、引き続き検討との記載も併記した。
◎会長	田中正造銅像と看板の他に提案する事業が出ないようなら、絞り込みたいと思う。
◎E委員	両方取り組むことにして、予算の振り分けを検討すれば良い。
◎A委員	私は、遊水地へ案内・誘導する看板と考えていたのだが違うのか。
◎会長	既設看板のリニューアルをするか、新設か、また看板に書き込む内容については、今後協議して決めることだ。
◎G委員	私は、遊水地の周辺の国道4号線、50号線から誘導する統一看板をイメージしているが、新設するのでは、288万円では1基か2基しか出来ないのでは、知恵を出し合いたい。
◎C委員	谷中湖への進入口に大きな看板が必要だ。
◎会長	具体的な内容については、後ほど決めたい。
◎C委員	ボランティア団体で遊水地PRの大きな看板を立てる際に随分制限があったと認識しているが、クリアーできるのか。
◎E委員	地域予算の枠内の看板として、どのような事業ができるのかを検討していただきたい。
◎A委員	予算に合わせて作るような看板では無駄遣いだ。私は、誘導するイメージを持って看板の事業に賛成したが、予算が無いから既存の看板を利用するというのは賛成できない。
◎会長	看板と言っても様々ある。少しずつ進めていくのも良いと考えている。
◎E委員	具体的なものは、事務局はまだ示していない。

◎A委員 ○事務局	<p>どういう事業を想定して資料の概算事業費を出したのか。</p> <p>既存の看板の書き換えをした場合の事業費が、1基当たり37万8千円程度ということだ。</p>
◎G委員	<p>渡良瀬遊水地の案内看板については、遊水地の担当課で構想は持っていると思う。地域会議として事業計画を市に出すことで、担当課とのすり合わせが必要になる。次年度は、もっと地域振興を目的とした事業とするべきだと思う。</p>
◎F委員	<p>地域協議会の経験が無く、初めて参加する人には非常に難しい議論だが、今回は、挙げた2事業で決定し、来年度からは委員皆が納得するまで議論したい。</p>
◎会長 ◎委員 ◎会長 ○事務局	<p>田中正造翁銅像と観光案内看板の2点で進めていくことでよろしいか。</p> <p>《 了承 》</p> <p>では、今後具体的な内容について、話し合っていくこととしたい。</p> <p>田中正造翁銅像の概算事業費として、180～280万円の幅があるが、金額によって整備のレベルで差が出ていると理解されたい。また、看板については、事務局と所管課で協議したものは、既存の観光案内版の書き換えという内容であった。</p>
◎E委員 ○事務局	<p>この2事業の内容は既に決定しているということなのか。我々委員で協議・提案する時間を持つこと無く、既定の中で進めてしまうのでは、委員の存在意義が無くなってしまう。</p> <p>ご意見のとおりであり、時間の制約のある中ではあるが、事業の中身は委員の皆さまに検討していただきたい。</p>
◎I委員 ○事務局	<p>委員の手引きを読んだが、なかなか理解が困難だ。時間が無いというのは、どういうことか。</p> <p>委員の手引きの標準スケジュールを見ていただくと、既に1か月遅れの状況となっている。</p>
◎I委員	<p>委員がやるべきことは、この二つの事業に絞るのであれば、地域予算の枠の中でどのような内容の事業ができるのかを考えることだ。資料に出ている事業費に添って進めると、できることは限定されてしまう。</p>
◎E委員 ◎会長	<p>この二つの事業の概算事業費は、事務局が案として出しているもので、金額の割り振りは、地域会議の総意で決定すれば良いことだ。</p> <p>本日は、二つの課題を地域予算提案制度で事業計画を提出していく方針が決定した。中身については次回検討したい。</p>
◎D委員 ○事務局	<p>この場でいくつか対案を検討し備えておかなければ、次回の予算の割り振りについての議論が進まないのではないか。</p> <p>事務局からの提案だが、委員は各自観光案内看板と田中正造翁銅像を現地で確認していただきたい。それを基に7月28日の第4回会議で具体的事業内容について検討し、8月11日の第5回会議で事業計画書案としてまとめていただきたい。</p>
◎会長	<p>現地を見ていただき、次回会議で具体的な事業案を決定する。その後、事務局で予算の概算を出してもらい、8月11日に事業計画案を決定するというスケジ</p>

<p>◎委員</p>	<p>ルールでよろしいか。 《 了承 》</p>
<p>◎会長 ◎委員</p>	<p>(2) その他 委員に対し、その他の協議事項の有無について確認した。 ・小山市による渡良瀬遊水地関連事業への取り組みについて情報提供を行った。</p>
<p>◎会長</p>	<p>議事の終了により、以降は事務局が進行する旨を述べた。</p>
<p>○事務局 ◎委員 ◎委員</p>	<p>4 その他 委員に対し、意見等を求めた。 ・会議の際の事務局側緊急連絡先について問合せを行った。 ・火災発生時の火災現場照会先について問合せを行った。</p>
<p>○事務局</p>	<p>事務局から、次回会議は、7月28日(火)午後6時30分から開催することについて連絡した。</p>
<p>○事務局</p>	<p>5 閉会 午後8時52分をもって第3回藤岡地域会議を閉会する旨を宣言した。</p>

別紙 出席者及び事務局職員

出席者（委員）

会 長	小曾根 慎 一	副会長	田 中 廣
委 員	飯 塚 俊	委 員	井 岡 治
委 員	池 田 昇	委 員	小笠原 義 仁
委 員	斎 藤 久 美	委 員	田 熊 豊 和
委 員	田 村 孝 子	委 員	酒 井 一 則
委 員	福 地 智 子	委 員	山土家 光 幸
委 員	萩 原 繁	委 員	町 田 佳 子

欠席者（委員）

委 員	石 川 悦 史	委 員	毛 塚 麻由美
-----	---------	-----	---------

出席者（事務局職員）

藤岡総合支所

田 中 徹（藤岡総合支所長）  
（藤岡地域まちづくりセンター）  
飯 塚 勝（地域まちづくり課長）  
山 市 進（同 主幹）  
亀 田 ミユキ（同 主査）  
五十畑 文 寛（同 主査）